

# 生田緑地特集パート1

現在当社では多摩区にある生田緑地の中の青少年科学館自然学習棟の新築工事を行っています。そこで…何とかにわたり、工事の進捗状況と、生田緑地のご紹介をさせて頂きたいと思います！

生田緑地は多摩丘陵のゆるやかな起伏に富んだ、様々な木々や植物の豊富な川崎市内最大の緑の宝庫です。桙形山展望台、菖蒲園、梅園、青少年科学館、岡村太郎美術館、日本民間園、伝統工芸館、ばら苑、ゴルフ場などがあり、どの季節にも楽しめ、緑のシャワーを浴びることができますよ。

今回当社で工事を行わせて頂くのはこの生田緑地の中にある「青少年科学館自然学習棟」です。棟内には新しいプラネタリウム設備も設置され、平成24年には営業がスタートする予定です。

## 青少年科学館

川崎市多摩区在住の大平貴之氏が開発したプラネタリウム「メガスターII」による投影と生解説で月替わりの番組を通年上演している。肉眼では見えない星まで再現している410万個の星を投影する性能を持っているそうです。更に、ドラマやPVの撮影にもよく使用され、MISIAのPVもこのプラネタリウムで撮影されました。また、外にはD51408号蒸気機関車が静態保存されていて、客車には乗ることもできます。(動きませんが...) 自然学習棟が完成後、改築が予定されています。



## 青少年科学館自然学習棟完成

既存プラネタリウム館の跡地に建て替える自然学習棟は3階建、延べ2150m<sup>2</sup>で、1階にはドームの直径が18mのプラネタリウムに新しい「メガスターII」を導入して約220人が高精細に投影される星たちを快適に見ることができます。また、休憩で立ち寄れる「レストスペース」もつられます。3階にはコンピューター制御できる望遠鏡が4台新設され、最大で約200人が交代で星を観察できるようになるそうです。2階には学習室や実験室がつくられます。



鹿島環境設備美化運動～地域の為にできること～

青少年科学館のプラネタリウムを作った方とはすごい人でした！



名前は大平貴之さんと言います。川崎市で生まれ育ちました。1980年、なんと10歳小学生の時に「卓上ピンボール式プラネタリウム」を製作！そして1992年、21歳大学生の時に、個人製作は不可能と言われたレンズ投影式プラネタリウム「アストロライナー」を完成させます。その後、これまでの数百倍にあたる150万個の星を映し出す「メガスター」を発表、2004年には日本科学未来館と共同開発した投影星数560万個の「メガスターII」がギネスワールドレコードに認定されます。各地での移動公演の他、松任谷由実やKIRORO、バンブオブチキン等多数のアーティストとのコラボレーションなどを積極的に行っていいるそうです。2005年には家庭用プラネタリウムのセガトイズと共同開発した「HOMESTAR」シリーズは世界累計40万台（2010年6月時点）を超える大ヒット商品となりました。そして著書「プラネタリウムを作りました」が「星に願いを～7畳間で生まれた410万の星～」（主演：堂本剛）としてテレビドラマ化されました。2008年6月には投影星数2200万個の「スーパーメガスターII」を発表。2010年10月にはインドに海外初常設設置を行うなど、常にプラネタリウムの新たな可能性を切り開き続けている方なのです。（詳しいプロフィール等は大平技研のホームページをご覧ください）

メガスターII



毎月進んでいく工事の状況をお知らせします！青少年科学館自然学習棟はどのように造られていくのでしょうか？



2月



3月



4月

旧プラネタリウムが撤去され、更地になっています。奥に見える2階建てのフラハフの建物が現場事務所です。

根切り工事です。建物の基礎を作る為に、地面を掘っていきます。

基礎工事が始まりました。鉄筋で足場を作り、プラネタリウムを支える強い土台を作ります。

当社では月に一度の土曜日の出勤日に社員一同で美化運動を実施しています。8時ごろから行っています。見かけたら、お声掛けてくださいね！！

